

デザイン (セクションレポート)		Std	Pro	WPF用ビューフ		Std	Pro
設計方式	セクション単位の設計	○	○	ツールバー	印刷、拡大/縮小表示、見出しマップラベル、ページ移動、サムネイル表示、検索 (ハイライト表示)、パラメータ、ハイパーリンク (ハイライト表示)、ツールバーのカスタマイズ、ページ設定ダイアログ、ショートカットキー、マウスで拡大/縮小、グラモード※1	○	○
セクション	帳票全体のヘッダ・フッタ、ページ単位のヘッダ・フッタ、グループ単位のヘッダ・フッタ、詳細	○	○	その他		○	○
コントロール	BarCode、Label、TextBox、Chart、CheckBox、Picture、Line、Shape、RichTextBox、PageBreak、OLEObject、SubReport、ReportInfo、CrossSectionLine、CrossSectionBox	○	○	入出力			
レポート定義ファイル	クラスファイル (*.vb、*.cs) ※RPX (XML形式) としてデザイン情報を外部ファイルに保存・読み込み	○	○	データ	ADO.NETデータプロバイダ、ADO.NETデータクラス (DataSet、DataTable、DataReader、DataView)、XMLファイル、CSVファイル、JSONファイル※2、カスタム、アンバウンド	○	○
各種設定	ルーラーの単位指定、プレビューページ数の指定	○	○	エクスポート	PDF、HTML、Excel、TEXT、TIFF、RTF、RDF (ActiveReports独自の形式)、Image※2 (BMP、EMF、GIF、JPEG、TIFF、PNG)、XML※2、Word HTML (.doc) ※2、CSV※2、JSON※2、Word (.docx) ※2	○	○
スタイルの管理	レポートデザインのスタイルの再利用 (スタイル情報を外部ファイルに保存・読み込み)	○	○	印刷	用紙サイズ・方向、余白、綴じ代 (見開きページ)、丁合、両面印刷、給紙トレイ、サイズ処理 (用紙に合わせる、N-UP印刷)、ウォーターマーク	○	○
スクリプト	C#、VB.NET	○	○	PDFエクスポート			
デザイン (ページレポート)				電子署名	電子署名、タイムスタンプ	×	○
設計方式	ページ単位の設計	○	○	外字	外字出力	×	○
コントロール	Table、Tablix、Chart、List、BandedList、Calendar、SparkLine、FormattedText、Bullet、Barcode、TextBox、Line、Container、Shape、Image、OverflowPlaceholder、CheckBox、SubReport、Map、TableOfContents	○	○	日本語	フォント埋め込み/非埋め込みの選択※3、太字	×	○
レポート定義ファイル	RDLX (XML形式)	×	○	PDF/A、PDF/UA-1	PDF/A、PDF/UA-1形式の出力	×	○
テーマ	テーマファイル (*.rdlx-theme) に色やフォントなどを定義しレポート内で再利用	○	○	印刷プリセット	印刷オプションの指定	×	○
スタイルの管理	レポートデザインのスタイルの再利用 (スタイル情報を外部ファイルに保存・読み込み・埋め込み)	○	○	その他	斜体 マルチランゲージ	○	△※4○
スクリプト	VB.NET	○	○	ASP.NET			
レイヤー	各レイヤーの表示/非表示や出力先を設定	○	○	WebView	Flashビューフ、HTMLビューフ、PDF、HTML	×	○
デザイン (RDLレポート)				HTTPハンドラ	PDF、HTML	×	○
設計方式	フリーレイアウトの設計	○	○	エクスポート	PDF、HTML	○	○
コントロール	Table、Tablix、Chart、List、BandedList、Calendar、SparkLine、FormattedText、Bullet、Barcode、TextBox、Line、Container、Shape、Image、SubReport、CheckBox、Map、TableOfContents	○	○	HTML5			
レポート定義ファイル	RDLX (XML形式)	×	○	HTML5 ビューフ	検索、パラメータ、ページ移動、印刷、ファイル出力 (PDF、Word、TIFF、HTML、Excel)、グラモード※1	×	○
テーマ	テーマファイル (*.rdlx-theme) に色やフォントなどを定義しレポート内で再利用	○	○	バーコード			
スタイルの管理	レポートデザインのスタイルの再利用 (スタイル情報を外部ファイルに保存・読み込み・埋め込み)	○	○	バーコード規格 (44種)	QRコード、マイクロQRコード、カスタムバーコード (郵便バーコード)、GS1-128 (コンビニバーコード、旧称UCC/EAN-128)、GS1 データバー、JAN13 (EAN13) など	○	○
スクリプト	VB.NET	○	○	グラフ (セクションレポート): グラフウィザードから選択可能なもの			
レイヤー	各レイヤーの表示/非表示や出力先を設定	○	○	グラフ2D (28種)	HiLo、エリア、カギ足、ガント、ドーナツ、バブル、ピラミッド、ベジェ、ローソク足、散布図、積層棒、折れ線、棒、練行足など	○	○
マスターレポート	マスターレポートファイル (*.rdlx-master) に共通のデザインを定義し、複数のレポートで共有	○	○	グラフ3D (21種)	エリア、カギ足、ガント、ドーナツ、ピラミッド、ファンネル、ベジェ、リング、円、新値三本足、積層棒、折れ線、棒、練行足など	○	○
マルチデータソース	複数のデータソースを使用	○	○	グラフ (ページレポート、RDLレポート): Chartダイアログから選択可能なもの			
デザイン (共通)				2D・3D (各30種)	カギ足、ガント、ピラミッド、練行足、ドットプロット、エリア、ドーナツ、バブル、ローソク足、横棒、散布図、積層棒、折れ線、棒、円など	○	○
各種設定	ページ設定、プリンタ設定、グリッド表示の有無、グリッド吸着の有無、グリッド間隔の指定、コントロール削除時の確認ダイアログ表示	○	○	※1 RDLレポートのみ利用可能です。 ※2 ページレポート、RDLレポートのみ利用可能です。 ※3 Standardエディションでは日本語フォントが必ず埋め込まれます。 ※4 1つのコントロールの中に複数の言語のフォントが出力されている場合には対応していません。 ※5 旧バージョンに付属していたActiveXビューフは6.0J以降からFlashビューフに変更しました。ただしFlashビューフはProfessionalのみの機能となるため、Standardには付属していません。3.0J以前のStandardエディションでActiveXビューフを使用していた場合は、Professionalへの移行かPDF形式での出力などの方法をご検討ください。なおWebアプリケーション上でのプレビューなし印刷は、旧バージョンではActiveXビューフを使用して実現しているため、6.0J以降で同様の動作を行う場合にはProfessionalが必要です。			
その他	スナップライン、ガイドライン、パンモード、レポートオブジェクト選択 & 移動時のオートスクロール、プレビュー表示、拡大/縮小表示、各種書式設定、アライメント設定、Zオーダーの設定、コンポーネントレイ、アンバウンドフィールドの追加、パラメータの追加、クエリデザイン	○	○				
レポートパーツ	既存レポートをパーツとして再利用	○	○				
エンドユーザーデザイナー生成	Designer、ReportExplorer、Toolbox、LayerList、GroupEditor、ReportsLibraryコントロールを使って無償で配布できるデザイナーアプリケーションを作成可能 (別途配布申請が必要)	×	○				
Windowsフォーム用ビューフ							
タッチ	マルチタッチ対応、ツールバー・コンテキストメニューの最適化	○	○				
ツールバーその他	印刷、拡大/縮小表示、見出しマップラベル、ページ移動、サムネイル表示、単一・複数連続ページ表示、検索 (ハイライト表示)、クリップボード、注釈機能、ハイパーリンク (ハイライト表示)、ツールバーのカスタマイズ、コントロール単位で文字列選択 & コピー、スナップショット、ページ設定ダイアログ、ショートカットキー、マウスで拡大/縮小、グラモード※1	○	○				

# ACTIVE REPORTS

ActiveReports / アクティブレポート

Windowsフォーム | WPF | ASP.NET | HTML5

## 開発者にやさしい日本水準のレポートツール

日本の開発現場で支持され続けている帳票開発コンポーネント「ActiveReports for .NET」。Windowsフォーム、WPF、ASP.NET、HTML5の4つのプラットフォームをサポートし、レイアウトや書式といった外観デザインの設定からデータ接続、印刷およびPDFへの出力設定まで、帳票開発に必要なあらゆる機能を備えています。

「セクション」「ページ」「RDL」という3つの帳票デザインを使い分けることで、日本の帳票開発に求められる生産性と柔軟性を満たすことが可能です。

用途に合わせて選べる「Professional」と「Standard」の2つのエディションをご用意しています。

## ActiveReportsの特長

- ✓ 使いやすいデザイン
- ✓ 主要なデータソースをサポート
- ✓ 多彩なビューフと出力形式
- ✓ マルチプラットフォーム対応
- ✓ PDF外字
- ✓ 豊富なサンプルコード

## あらゆる帳票に対応する3つのデザイン方式 使いやすいActiveReportsデザイン

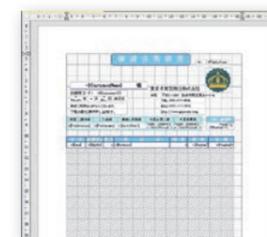
### セクションレポート

データを繰り返し表示する  
帳票に最適



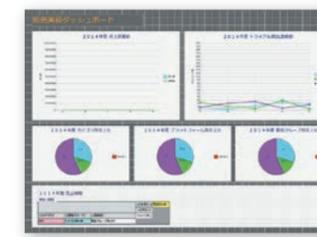
### ページレポート

印刷結果とまったく同じレイアウトで  
直観的にデザイン

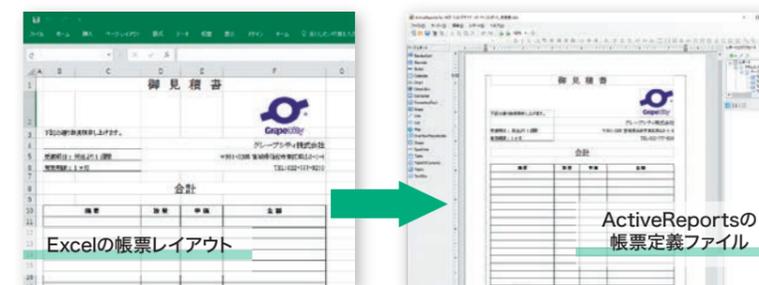


### RDLレポート

データソースの異なる  
テーブルやグラフを自由に配置



## Excelインポートツール ActiveReportsの 帳票定義ファイル (\*.rdlx) を Excel帳票から自動生成



ランタイムフリー\* | 長期的な運用支援 | 完全な日本語製品 | VBとC#のサンプルプログラム付

\*本製品に含まれるコンポーネントを使用し、サーバーコンピュータ上で実行されるアプリケーションを配布する場合、プロセッサのコア数(2コア単位)に応じた「コアサーバーライセンス」が必要です。

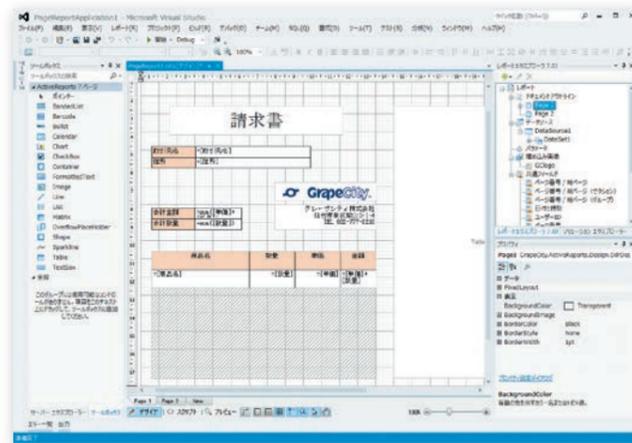
オンラインデモ、帳票サンプル、機能解説など詳しい情報が満載!  
www.grapecity.co.jp/developer/activerreports

開発元: グレーシティ株式会社 / Microsoft, Windows, Visual StudioおよびVisual Studioロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です / GrapeCity, ActiveReportsはグレーシティ株式会社の登録商標です / その他記載されている製品名は各社の登録商標または商標です / 本カタログは2018年2月現在のものです / 記載内容は予告なく変更することがあります

## スピーディな帳票開発

### 使いやすいレポートデザイナー

ActiveReportsが長年にわたり日本の帳票開発市場で支持されている理由としてまず挙げられるのが、使いやすいレポートデザイナー。デザイナーはVisual Studio上で起動し、帳票設計用コントロールを自由に配置できます。直感的操作が可能なデザイナーは、外観設計にかかる時間を大幅に短縮します。



### ActiveReportsデザイナーの主な特長

デザイナーがVisual Studioに統合されているため、アプリケーション本体とシームレスに帳票をデザイン

プレビュー画面で最終的な出力を確認しながらのデザインが可能

スナップライン、ガイドライン、均等割付、パディング、デザイナーの拡大/縮小、パンモードを使って、細かくレイアウトできる

レポートパーツ機能により、既存レポートのデザインの一部を簡単に再利用可能

レイヤー機能を使用すれば、既存レポートをスキャンした画像を背景にして、トレースしながらデザインできる(ページレポート、RDLLレポートのみ)

## 多彩なビューワと出力形式

### マルチプラットフォームに対応しさまざまなファイル形式の出力をサポート

ActiveReportsはWindowsフォーム、ASP.NET、WPF、HTML5の4つの開発プラットフォームをサポートしているため、ActiveReports一つでマルチプラットフォーム開発が可能です。実行時に帳票を表示するレポートビューワについても、それぞれのプラットフォームに応じたものを収録。帳票出力もPDF、Excel、TIFF、HTMLといったさまざまな形式に対応しています。



## あらゆる業務に対応するサンプル帳票が付属

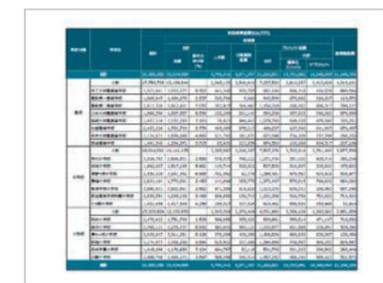
### 請求書、納品書、仕入伝票

取引先ごとにデータをグループ化。空行出力もプロパティの設定だけで簡単に行えます。



### 各種調査表

クロス集計のような帳票もTablixコントロールで作成可能。セル結合や個別セルでの書式設定など柔軟なレイアウトが可能です。



### 顧客名簿、タックシール

大量データの一覧表形式。データに応じて自動でセルを結合します。顧客データをもとにした宛名ラベルも手軽に作成できます。

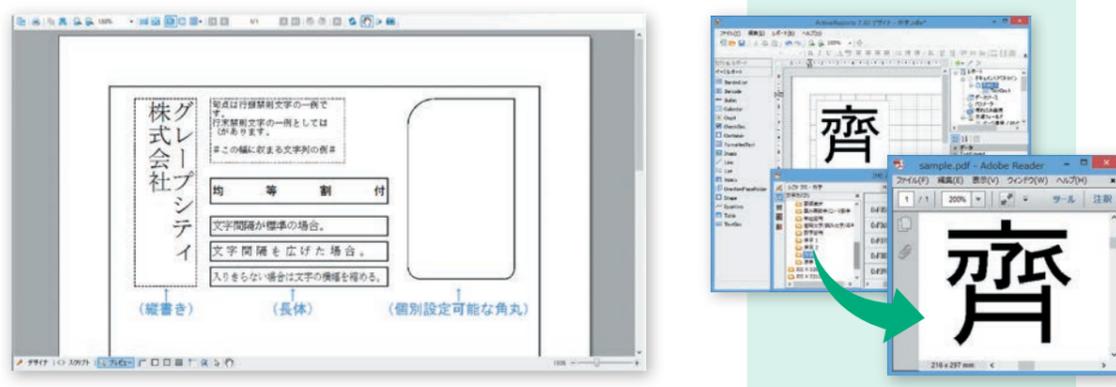


## 日本仕様の帳票に最適

### 縦書きや外字にも対応

罫線の中にバランスよく文字を収めたい、部分的に縦書きにしたいといったように日本の帳票は高度なレイアウトが求められます。

ActiveReportsには行間文字ピッチの指定、均等割付、縦書き、長体、PDF外字、禁則処理といった、日本の厳しい帳票要件を満たすためのさまざまな機能を搭載しています。



### 複写伝票

同一のデータを複数回出力して、複写伝票を簡易的に作成できます。



### 振込取扱票

レイヤー機能を使えば、プレ印字の用紙に合わせたデザインや出力を行えます。バーコードも簡単に印刷できます。



### 販売実績ダッシュボード

RDLLレポートであれば、複数のデータソースを利用した帳票も手軽に作成できます。改ページなしですべてのデータをプレビューできるゲラモードを搭載。

